

平成22年度 国立乗鞍青少年交流の家企画事業

「Feel the Wind

～のいくらで感じよう！自然・仲間・自分～」

国立乗鞍青少年交流の家では、2泊3日の日程で『Feel the Wind～のいくらで感じよう！自然・仲間・自分～』を夏・冬の2回実施した。この事業は、大自然といういつもと違う環境の中で、森林のいやしを受けたり、内面を理解し心を解放するための手法を学んだり、子どもたちと実際にふれあうことを通して、今日的な課題に前向きに取り組もうとする青年の育成を趣旨として行っており継続6年目となる。

1日目は大学生が「悩みを持つ児童生徒への向き合い方」を学ぶとともに、大自然の中における森林浴の癒し効果や野外でのレクリエーション活動の実習を行った。2日目からは大学生と児童生徒との交流が始まった。大きな特徴として、決まったプログラムはなくフリータイムでの活動が主となる。子どもたちは、アニマルセラピー協会の協力により、犬とのふれあいや段ボール工作、雪遊び・折り紙やお絵描きなど思い思いの活動を行った。その中で、子どもたちの内面を理解しようと寄り添い活動している大学生の姿がいたるところで見られた。

大学生参加者からは「将来自分が教師になるための糧がものすごく得られたなと思った。」「課題を抱える子どもとの関わり方について助言を得られたことはとてもうれしく勉強になった。」などの感想が寄せられた。



実習「森でのいやし体験及びネイチャーゲーム」



実習「雪の中での楽しみ方」



フリータイム「犬とのふれあい体験」



フリータイム「アイスクリームづくり」



フリータイム「段ボール工作」



フリータイム「そり遊び」